



住吉教会 2014 年度テーマ
「殉教者の霊性を生きる」
—信仰刷新の年—

アルスへの道

—司祭叙階25周年に寄せて—

赤波江 豊 神父

フランスにアルスという町があります。まわりにはとうもろこしとひまわりの畑が広がる静かな村です。18世紀頃、ここにヴィアンネーという聖人が登場しました。ヴィアンネーはすぐれた聴罪司祭として、特に当時のフランス革命で荒廃した多くの人々の魂を救った聖人です。また彼は教区司祭の保護の聖人として多くの司祭から愛されています。しかし、多くの司祭にとってヴィアンネーの魅力はその聖徳もさることながら、彼が神学生の時、まったく勉強ができなかったことでしょう。彼はほんとうに勉強ができない人でした。理解力はあるものの、記憶力がなかったのです。当時は授業も試験もラテン語でしたが、彼はこのラテン語がまったくできなかったのです。それで落第に落第を重ね、何度か神学校から出されそうになったのですが、勉強ができないものの信仰の厚さゆえ、最後に何とかおなさげで叙階させてもらった人です。ちなみに私も神学生時代にはラテン語で非常に苦労しました。あまりの難しさに時々気が変になりかかりました。本当です!!

私が初めてヴィアンネーと出会ったのは中学生の時でした。その時私は九州のある小神学校にいました。ある日帰省する夜行列車の中でヴィアンネーの伝記を読んで非常に感動し、「僕もヴィアンネーのような司祭になりたい、そしてヴィアンネーが生涯働いたアルスの村へも行ってみたい」と思うようになりました。しかしそのような夢にもかかわらず中学3年の夏、おもしろくなくなって、突然小神学校をやめてしまったのです。その時多少未練はあったものの、もう自分が司祭になることはあるまい、そしてヴィアンネーとアルスへのあこがれは保ちながらも、自分がフランスのような遠い国まで行けるはずがない、結局夢は夢のまま終わるだろうと思っていました。それから18年後、あの時もうないだろうと思っていた司祭に私はなっていました。自分で気づかないまま、燃えていた召命の灯をヴィアンネーが保ってくれていたのでしょう。そして行きたいけれど行けるはずがないと思っていたアルスの村へ行く機会が訪れました。

司祭になって3年目の夏、信徒の方と一緒にフランスを巡礼する機会に恵まれました。その日程の中にアルスへの巡礼も組まれていたのですが、薄情なことに司祭となつてからの私は、ヴィアンネーへの思いも薄くなって、アルスへ行くと聞かされてもあまり喜ぶこともなかったのです。ところが9月4日、一行が乗ったバスがアルスに近づくにつれ（その時私はバスの後部座席で一人何か考えごとをしていたような気がします）なぜか次第に

胸が高鳴るのを感じました。教会に到着して引き寄せられるように中に入り、ヴィアンネーが生前の姿のままで眠る祭壇の前に立った時、全身が熱く高揚するのを感じました。そしてヴィアンネーが生前使用していたカリスでミサをささげた時、私の目から涙が流れました。実は初ミサの時でもこれほどまでに感動しなかったのです。感動というよりはむしろ興奮に近いものでした。不思議な出来事でした。ここまで私を導いてくれたヴィアンネーと一緒に喜んでくれたのでしょうか。ミサの後、深い感慨につつまれて、ヴィアンネーが生前何十万人もの告解を聴いた告解台に私もひざまずき、心の思いを打ち明けてきました。教会を去る時、私の叙階記念のカードを小祭壇の脇においてきました。今でも残っているのでしょうか。教会の外で親子連れがいたので挨拶したら、一緒にいたかわいい男の子がにこにこしながら私の後についてきました。

帰りの列車の中で信者さんが私にプレゼントを下さいました。意外に思って何だろうと包みを開けてみると、それはヴィアンネーと男の子が話している石膏のレリーフでした。一緒にいた故クレニュー神父様が説明して下さいましたが、それはアルスの村の入り口にある像の模型で、ヴィアンネーがアルスに赴任する時、道に迷ってそばにいた男の子に道を尋ねている時の模様を描いたものでした。そしてその下にこう書いてありました。

「君は私にアルスへの道を教えてくれたが、今度は私が君に天国への道を教えてあげるよ」

私は今年司祭叙階25周年を迎えました。私に召命の灯をともしてくれたヴィアンネーが、今までの私の司祭生活を守り続けてくれました。アルスを巡礼した時の感動は今でも昨日のことのよう覚えています。今度いつアルスを巡礼するかは分かりませんが、今でも私の部屋に置いてある記念の石膏のレリーフに刻まれたヴィアンネーの言葉は生涯私の心から消え去ることはないでしょう。

住吉教会 お預かりご遺骨の件

2014年3月1日

現在、当方では下記の方々のご遺骨をお預かりしておりますが、今回、諸般の事情により祈念堂(納骨堂)のご遺骨預かりを取止めることになりました。つきましては次の方々のご遺骨に関係する方、あるいはご事情をご存じの方は、2014年4月末日までに住吉教会事務所までお届け下さい。

| 物故者名 | 納骨日 | 依頼者 |
|------------|------------------|--------|
| 中村 園 様 | 1984年11月30日 | 橋本 岩雄様 |
| 中村 信夫様 | 1984年11月30日 | 橋本 岩雄様 |
| 中村 一子様 | 1979年12月6日 | 橋本 岩雄様 |
| マリア 淵上 はせ様 | 1989年8月26日 | 不明 |
| マリア 川辺 なみ様 | 1990年11月4日 | 高井 寿子様 |
| 来栖 利雄様 | 不明 (1995年8月15日頃) | 不明 |

なお、2014年4月末日までにお届けのない場合は、当方で共同埋葬(以後改葬はできません)を致しますのでご了承下さい。

住吉教会事務所 ☎ 078-851-2756 ☎ 078-842-3380

2014年2月度カトリック住吉教会評議会議事録

1. 日時 2014年2月16日(日)12:30～13:14
2. 場所 住吉教会第2会議室

始めの祈りとことば 赤波江神父

3. 議事

I 日程確認

① 星の園幼稚園協議・連絡事項

ア. 2014.1.17 学校法人認可。4月1日からスタート。

理事長 高畠神父様が就任され、3月初めに第1回理事会・評議会開催予定。

名称「兵庫カトリック学園」。事務局：星の園幼稚園の所在地

理事：松谷星の園幼稚園園長他、評議員：赤波江神父様他。

イ. 1月28日、白モクレンを創立60周年記念植樹として植樹。

② 今後の日程確認:追記 (2月26日現在の最新記事を掲載)

* 赤波江神父様は3月8日までタイ国に出張中です。

火、金、灰の水曜日以外の平日のミサはありません。

3月1日(土) 教会学校遠足(10:30～、夙川教会へ)

3月2日(日) 黙想会、ミサ司式・指導司祭 竹延神父様(クラレチアン会日本管区長)

9:00～ 赦しの秘跡

9:30～ 講話

10:30頃～ミサ

ミサの後、赦しの秘跡

14:00 神戸地区宣教司牧評議会(北須磨教会)

3月5日(水) 19:00 灰の水曜日ミサ

3月9日(日) 18:30～20:00 とどけ!心の歌声

～東日本大震災から三年、今こそ共に～(神戸中央教会)

主催:カトリック大阪大司教区 ENGO プロジェクト

内容:被災地の現状報告、テゼの祈り

3月9日～4月18日の四旬節中、十字架の道行 毎日曜日9:00から。

3月15日(土) 10:00 星の園幼稚園卒園式

14:00 教会学校卒業式、終業式

3月16日(日) 9:30 ミサ、幼児洗礼。11:00 評議会

3月19日(水) 星の園幼稚園終業式

3月21日(金) 司祭叙階式(カテドラル) トゥアン助祭、ハイ助祭の司祭叙階

- 3月23日(日) 赤波江神父様叙階記念感謝ミサ(銀祝)、お祝い会
- 3月30日(日) 11:00 ホームページ委員会
- 4月13日(日) 受難の主日(枝の主日)、大掃除、会計監査
- 4月16日(水) 11:00 大阪カテドラル聖香油ミサ、司祭金祝・銀祝
- 4月17日(木) 聖木曜日(主の晩さん) 19:00
- 4月18日(金) 聖金曜日(主の受難) 19:00、大斎・小斎
- 4月19日(土) 聖土曜日(復活徹夜祭) 19:00
- 4月20日(日) 9:30 復活の主日ミサ、初聖体、パーティ

II 審議事項

- ① 仮称「スタッフチーム」: 様々なお手伝いの出来る方が登録できる仕組みを作ったかどうか。従来のチームではなく、もっと柔軟に考え、イベント等のお手伝いを願う等。声掛けし、各人のタレントを生かす。チーム名に可愛いネーミングを!
- ② 東ブロック会報告(2月9日、六甲教会) 下記3イベントの開催支援。
 - ア. 3月15日「インターネットが拓く新・福音宣教Ⅷ」(14:00、神戸中央教会)
後援: 神戸地区宣教司牧評議会
 - イ. 4月12日「高山右近 列福を祈る巡礼」バスツアー、定員あと4名(議長氏家迄)
主催: 神戸地区宣教司牧評議会(当日能勢で春名地区長司式 野外ミサ予定)
 - ウ. 4月27日「グラシェラ・スサーナ チャリティコンサート」(14:00、神戸中央教会)
フィリピン台風被害復興支援、東日本大震災復興支援目的。

III 各チーム代表報告、提案

チーム代表改選: 典礼チーム MH氏
 広報チーム HH氏

IV その他

- ① 電気メーターを教会建物1階の視認出来る位置に移設工事、承認。
- ② 女子トイレの点検必要。流量等。
- ③ シンボルツリーの剪定: 専門業者に相談。

次回評議会: 3月16日(日)11:00、議題: 祈念堂説明会後の各ご遺族のご意向状況

終わりの祈り 赤波江神父

(文責 TU)

～東日本大震災から三年、今こそ共に～

とどけ！ 心の歌声



◆日時

2014年 3月 9日(日)
18:30 ～ 20:00

◆会場

カトリック神戸中央教会

神戸市中央区中山手通1-28-7
(JR・阪急・阪神 三宮駅より 徒歩10分 <約800m>)

◆内容

被災地の現状報告
テゼの祈り

◆参加無料 堂内献金あり



カトリック神戸中央教会



「見よ、兄弟が共に座っている
なんとという恵み
なんとという喜び」(詩編133:1)
すべての壁を越えて
兄弟姉妹がひとつの場所に集い、
被災地のために心を合わせ
祈りの歌声を響かせるとき、
この言葉の通りの喜びが
わたしたちを満ちします。
その喜びは、遠く被災地に届けてでしょう。

主催：カトリック大阪大司教区 ENGOプロジェクト

問合せ先：ENGOプロジェクト

Tel.090-5258-5704 (18:00-21:00)

E-mail : engo@osaka.catholic.jp